

ロボテック 戦略

アクサIM株式チーム

2025年3月

農地から食卓までロボテックで自動化

これまで5回のロボテック戦略レポートでは、最も伝統的な産業にさえも革命を起こす、現代のロボット工学と自動化の有望な可能性を探りました。コストの節約、非効率性の削減、持続可能性の向上は企業や投資家を含む様々な利害関係者に利益をもたらすと期待されています。**食品生産**もまたロボテックの多様な機会の中で、着目すべき一例と見えています。食糧に対する人類の基本的欲求は、世界の市場をひとつに結び付ける力があると考えます。これは無くなることのない基本的欲求であり、世界人口の増加に伴い増加し続けるものと見えています。現存の食料安全保障の世界的不平等を背景に、需要を満たすためにはかつてないほどの大量の食品生産が必要となることが予測されています。¹ しかし地球の天然資源には限りがあります。世界の居住可能な土地の半分がすでに農業に利用されています。² 伝統的農業はこれまで需要を満たすために、非効率的で持続不可能かつ汚染度の高い方法を使用してきました。今後はより少ない資源でより多くを産み出す必要があると見えています。政府でも企業でも、栄養危機に対処するための取り組みの増強を進めています。³ 同様に、産業側も肥料コストの上昇、作物に与える天候変動の影響、乱高下するコモディティ価格、人件費と人手不足など、様々な面から強まる経済的圧力に直面しています。⁴ 世界で数千件の農家を調査したマッキンゼー・グローバルファーマー・インサイトによる報告書では、農家に対する2024年の優先事項として、生産性を高めるためのアグリテック・ソリューションの導入

を取り上げました。⁵



前回の戦略レポートの中で触れたソフトウェア＆ハードウェアのソリューションプロバイダー（顧客の問題解決策を提供する企業）のトリンプルもまた、アグリテック（農業分野で活用される最先端テクノロジー）の革新的な能力が農業に与える具体的な影響を示す一例になると見えています。トリンプルの精密農業機器が農地管理の最適化や資源消費の削減、収穫高の増強を支援する場面では、同じワークフロー最適化原則が適用されます。トリンプルは作業の効率性向上を可能にすることで、様々な産業で持続可能性と収益性の双方を改善する上で不可欠な役割を果たします。農業畜産業以外でも、食品生産の自動化もまた、食品が加工され安全に消費者へ届けられる方法を変革しています。新型コロナウイルス感染拡大の時に、食品サプライチェーン（供給網）の脆弱性が露わになり、衛生の改善や汚染防止、加工施設での肉体労働依存度の削減が不可欠であることが明らかになりました。

食品加工自動化のリーディング企業であるJBTマレルは、安全性と効率性を高める先進的ロボットシステムを開発することにより、これらの課題に取り組んでいます。自動化した同社の食品加工設備は人間と食品との接触を最小化し、汚染リスクを削減し、安全基準を引き上げます。さらに、JBTマレルの技術によりトレーサビリティ（食品履歴管理）が改善し、生産者は農地から食卓まで材料を追跡できるようになり、食品リコール（不良品回収）の防止や規制遵守の確保に役立ちます。精密農業から加工および包装まで、食品チェーン全体にわたって自動化を統合することにより、同産業は安全を高め、効率的、そしてより持続可能な食品生産を実現できると見えています。



食料安全保障と持続可能性、公衆衛生が依然として世界的な課題であることから、この分野で革新的な自動化ソリューションを提供する企業は相対的に良好な長期の投資機会を表していると見えています。

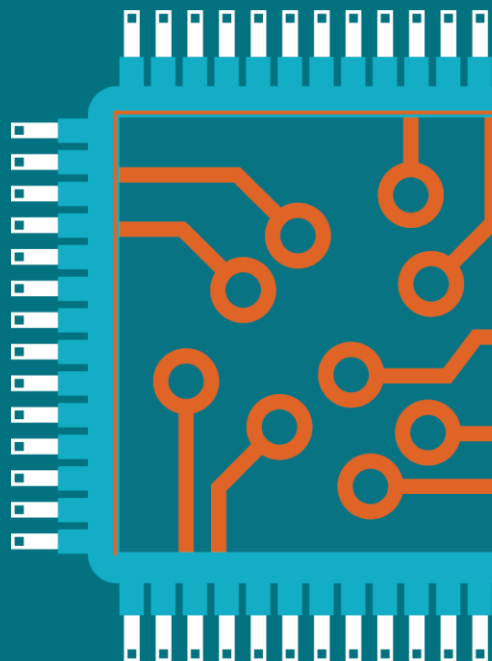
企業への参照は例証のみを目的としており、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。掲載写真はイメージのみです

¹ The challenge – Global Food Security | ² Half of the world's habitable land is used for agriculture - Our World in Data | ³ Executive summary – Global Nutrition Report 2022 - Global Nutrition Report | ⁴ Trends driving farm automation | McKinsey | ⁵ Voice of the global farmer 2024:Farmer survey | McKinsey

ロボテック 戦略

アクサIM株式チーム

2025年3月



ご留意事項

本資料は情報提供のみを目的としており、特定の有価証券やアクサ・インベストメント・マネージャーズ・グループ（この資料において、「アクサIM」という場合があります。）またはその関連会社による投資、商品またはサービスを購入または売却するオファーを構成するものではなく、またこれらは勧誘、投資、法的または税務アドバイスとして考慮すべきではありません。本資料で説明された戦略は、管轄区域または特定のタイプの投資家によってはご利用できない可能性があります。本資料で提示された意見、推計および予測は掲載時の主観的なものであり、予告なしに変更される可能性があります。予測が現実になるという保証はありません。本資料に記載されている情報に依存するか否かについては、読者の独自の判断に委ねられています。本資料には投資判断に必要な十分な情報は含まれていません。

投資リスクおよび費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はおお客様の負担となります。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第16号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会